

# MITSUBISHI

## 三菱換気空清機 **クロスナイ** 壁掛2パイプ取付ロスナイ

形名

〈ロスナイ換気タイプ〉

VL-16U (-BE) (-D,J,W)  
(引きひもタイプ)

VL-16EU (-BE) (-D,J,W)  
(壁スイッチタイプ)

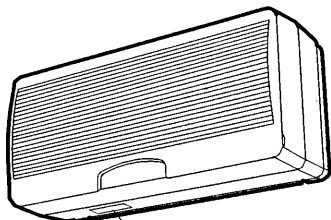
VL-18U (-BE) -D  
(引きひもタイプ)

VL-18EU (-BE) -D  
(壁スイッチタイプ)

〈急速排気付タイプ〉

VL-18EUH (-J,W)  
(壁スイッチタイプ)

VL-18URH (-J,W)  
(ワイヤレスリモコンタイプ)



形名表示位置

- 寒冷地仕様品 : 形名に“-D”がついています
- 準寒冷地仕様品 : 形名に“-J”がついています
- 温暖地仕様品 : 形名に“-W”がついています

### 取付工事説明書 販売店・工事店さま用

- この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付工事が必要です。取付工事の前に、この取付工事説明書をよくお読みください。
- 取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。
- お客さまご自身での工事は、故障や事故の原因になります。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

## 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠

**警告**

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

🚫

分解禁止

- 改造や必要以上の分解はしない  
(火災・感電・けがの原因となります)

🚫

風呂・シャワー室での使用禁止

- 浴室など湿気の多い所には本体・壁スイッチとも取付けない  
(感電・漏電の原因になることがあります)

⚠

指示に従い必ず行う

- 交流100Vを使用する  
(直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)

⚠

**注意**

誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

🚫

禁止

- 壁取付専用のため、天井には取付けない  
(落下によりけがをすることがあります)
- 高温(40℃以上)になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤がかかる場所には取付けない  
(火災のおそれがあります)

⚠

指示に従い必ず行う

- 端子台カバーは工事後、必ず取付ける  
(ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因になります)
- 取付けの際は手袋を着用する  
(着用しないとけがをすることがあります)



指示に従い必ず行う

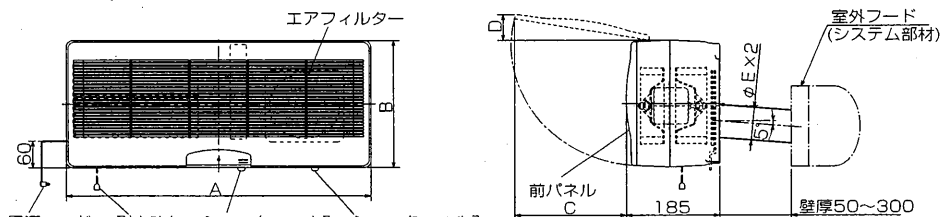
- 外気の取り入れ口は燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ  
(新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になるおそれがあります)
- 本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う  
(落下によりけがをすることがあります)
- 端子台接続部のある機種は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する  
(接続に不備があると火災のおそれがあります)
- 配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店(電気工士)が安全・確実に行う  
(接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因になります)



指示に従い必ず行う

- 給排気パイプは室外に向かって下りこう配(着用しないといけないことがあります)
- 給排気パイプは室外に向かって下りこう配になるように取付ける  
(雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因になります)
- ドレン排出は、取付工事説明書に従って確実に行う  
(水漏れによる感電・火災や家財の破損のおそれがあります)
- 専用システム部材の室外フードを取付ける  
(雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因になります)
- 取付け後長期間使用しない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切るか、電源プラグをコンセントから抜く  
(絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)

## 外形寸法図



■変化寸法表 単位 (mm)

タイプ	A	B	C	D	E
VL-16(-J,W)タイプ	550	265	208	55	75
VL-16(-D)タイプ	620	285	227	58	
VL-18タイプ	620	285	227	58	100

- ※1 引きひもタイプのみ  
(引きひもタイプ以外は電気式シャッター)
- ※2 温暖地仕様品を除く引きひもタイプのみ
- ※3 壁スイッチタイプ以外

## 同梱部品を確認してください

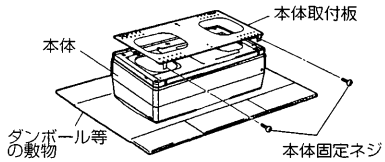
付属部品

- パイプ取付板 ..... 2個  
(寒冷地仕様品は1個)
- 給排気パイプ ..... 2本
- アルミテープ ..... 2枚
- パッキン (-J, -Dタイプのみ付属)  
(大...2枚  
中...1枚  
小...1枚)
- 木ネジ ..... 10本  
(取付板取付用・本体正面固定用)

ワイヤレスリモコンタイプ

- リモコン ..... 1個
- 乾電池 ..... 2本
- リモコンホルダー ..... 1個
- 取付ネジ ..... 1本

# 取付けの前に



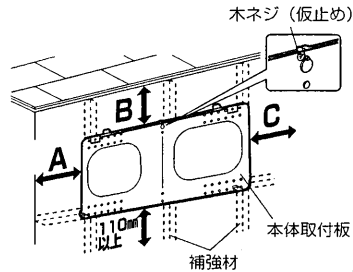
本体固定ネジ2本をはずす。

### お願い

- 本体固定ネジを保管してください。本体取付時に必要です。
- 本体の傷つき防止のため、ダンボールなどを敷いてください。
- 本体背面のシャッターは工場出荷時は閉じています。(工具等で加工する必要はありません)

# 壁穴工事

## 1. 取付位置を決める



- (1)本体取付板を壁にあてる。
- (2)壁内の補強材が本体取付板を固定できる位置にあるか確認する。
- (3)木ネジ1本で本体取付板を仮止めする。

単位 (mm)

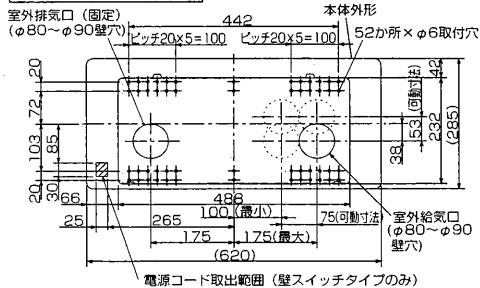
タイプ	A	B	C
VL-16(-J,W)タイプ	81以上	82以上	81以上
VL-16(-D)タイプ	116以上	102以上	116以上
VL-18タイプ			

## 2. 壁穴位置を決める

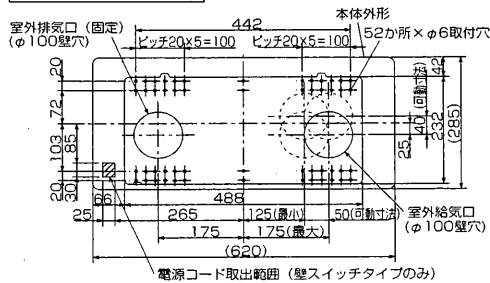
■取付位置図 (室内側から見る) 単位 (mm)

下図を参照し可動範囲内で壁内の障害物をさけて位置を決める。(壁穴位置は機種により異なります)

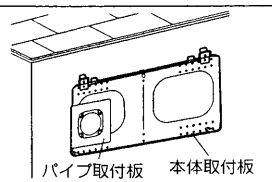
### VL-16(-D)タイプ



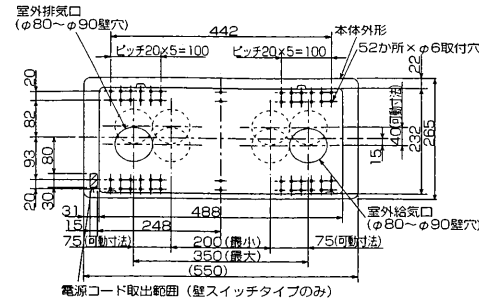
### VL-18(-D)タイプ



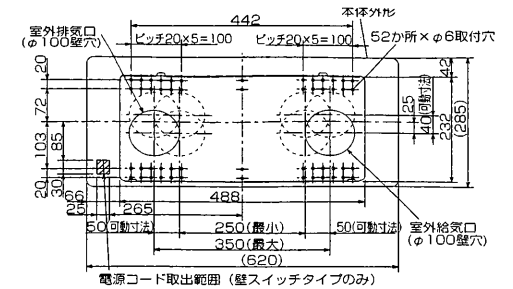
寒冷地仕様品 (-Dタイプ) の排気側パイプ取付板は工場出荷時に取られています。



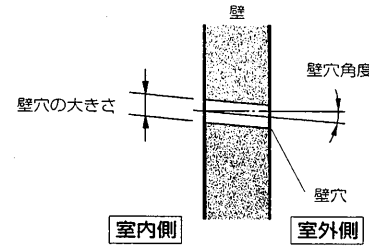
## VL-16(-J,W)タイプ



## VL-18(-J,W)タイプ



## 3. 壁穴をあける



- (1)本体取付板をはずす。
- (2)下表の径の壁穴をあける。

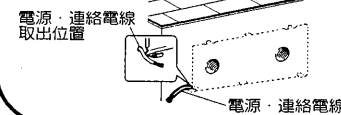
タイプ	壁穴の大きさ	壁穴角度
VL-16タイプ	φ80~90mm (パイプを延長する場合はφ90mm)	5°
VL-18(-D)タイプ	φ100~110mm (パイプを延長する場合はφ110mm)	5°
VL-18(-J,W)タイプ	φ100~110mm (パイプを延長する場合はφ110mm)	2°~5°

### お願い

- 壁穴は室外側に下りこう配となるようにあけてください。雨水の浸入防止のために必要です。

## 4. 電源・連絡電線を引き出す

壁スイッチタイプのみ



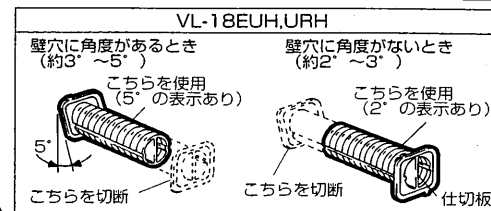
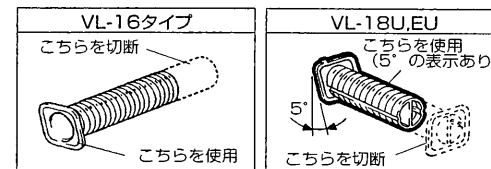
- (1)電源・連絡電線取出位置を決め、壁穴をあける。(取付位置図参照)
- (2)電源・連絡電線を室内側へ引き出す。

### お願い

- 引きひも・ワイヤレスリモコンタイプの場合は電源コードの届く範囲に電源コンセントを取付けてください。

# 給排気パイプ・本体取付板の固定

## 1. 給排気パイプの切断

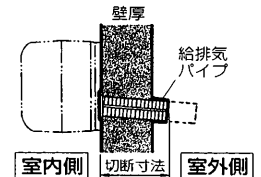


- (1)壁厚を測る。
- (2)切断する方向を決める。
  - 製品形名および壁穴の角度により、切断する方向が異なります。(左図参照)
- (3)下表の寸法にパイプを切断する。(室外フードによって切断寸法が異なります)

室外フード	切断寸法
防火ダンパーつき	壁厚+10mm
防火ダンパーなし	壁厚+30mm

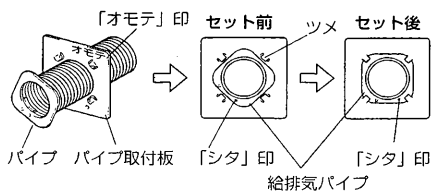
### ミニ情報

- φ100パイプは1パイプタイプと共通部品のため、中央に仕切板があります。



# 給排気パイプ・本体取付板の固定

## 2. 給排気パイプの準備

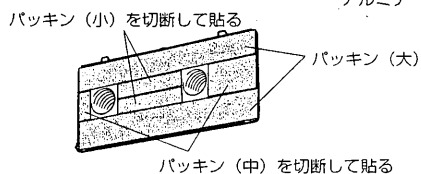
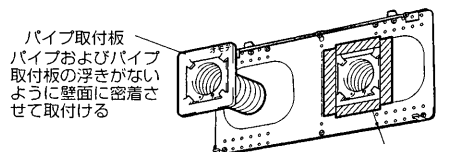
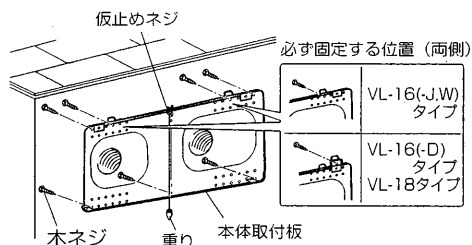


給排気パイプをパイプ取付板に差し込み、左回りに回転させてツメ4か所固定する。

### お願い

- 寒冷地仕様 (-Dタイプ) は排気側のパイプを本体取付板に固定してください。
- 給排気パイプの「シタ」印を下にして取付けてください。取付けた後、給排気パイプが室外側に向かって下りこう配になっていることを確認してください。(雨水浸入やシャッター動作不良の原因になります)
- パイプ取付板のツメが4か所ともパイプにかかっていることを確認してください。(シャッター動作不良の原因になります)

## 3. 本体取付板・給排気パイプの固定



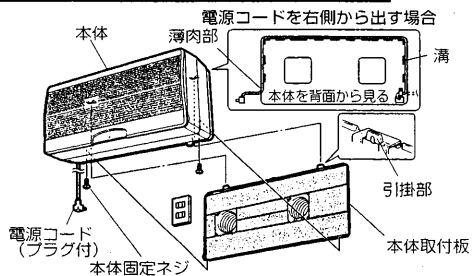
- (1) 本体取付板を仮止めネジに仮固定する。  
(-Dタイプは同時に排気側パイプを差し込む)
  - (2) 重りを吊り下げて本体取付板の水平を確認する。
  - (3) 壁内の補強材がある位置に木ネジ2本で固定する。
  - (4) 給排気パイプを壁穴に差し込む。  
(-Dタイプは給気側のみ差し込む)
  - (5) 付属のアルミテープで給排気パイプが壁面に密着するように固定する。(シャッター動作不良の原因になります)
  - (6) 左図のように付属のパッキンをはみださないように貼り付け、断熱する。(-J、-Dタイプのみ)
- アルミテープが露出しないように貼り付けてください。(露出していると結露の原因になります)
  - パイプの位置により貼る範囲が異なります。パッキン (中・小) を大きさに合わせて切断し、パイプの穴にかからないように貼り付けてください。

### お願い

- 本体取付板引掛部近くの2か所は必ず固定してください。
- コンクリート壁の場合は市販のコンクリートビスで固定してください。
- 給排気パイプの「シタ」印を下にして取付けてください。(ドレン水の逆流や雨水が浸入します)
- 取付けた後、給排気パイプが室外側に向かって下りこう配になっていることを確認してください。

# 本体の固定

## 引きひも・ワイヤレスリモコンタイプ



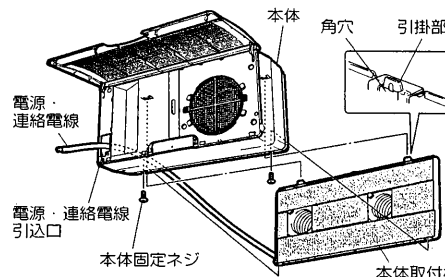
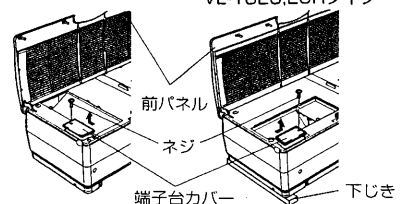
- (1) 本体を本体取付板に引っ掛ける。
- (2) 本体を壁側に押しつけて本体固定ネジ2本で固定する。このとき、電源コードを本体側面の切欠部に確実に入れ込む。

### 電源コードを右側から出す場合

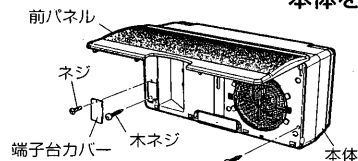
- (1) 本体右側の薄肉部を打ち抜き、切欠部をつくる。
- (2) 電源コードを本体背面の溝に通し、右側へまわす。
- (3) 電源プラグをコンセントに差し込む。

## 壁スイッチタイプ

VL-16EU(-J,W)タイプ VL-16EU(-D)タイプ VL-18EU,EUHタイプ



### 本体を正面から固定する場合



- (1) 前パネルの両側に手を掛けて開ける。  
●ドレンパンの先端を保護するために左図のように下じきの上に乗せてください。(寒冷地仕様のみ)
- (2) ネジ1本をはずし、端子台カバーをはずす。

### お願い

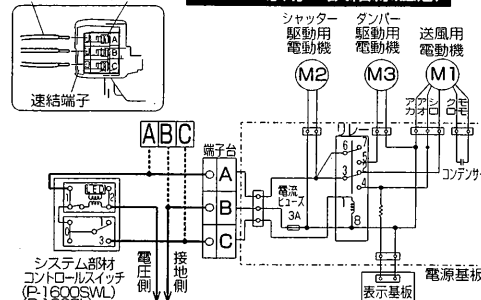
- はずした端子台カバー・ネジは無くさないよう保管してください。
- 前パネル開閉時、パネル固定部に無理な力が加わらないよう注意してください。
- 本体背面のシャッターは工場出荷時には閉じています。(工具等で加工する必要はありません)
- (3) 電源・連絡電線を引込口から本体内部に引き込む。
- (4) 本体を本体取付板に引っ掛ける。  
●このとき-Dタイプはドレンパンの先端を給排気パイプに入れながら取付けてください。
- (5) 本体を壁側に押しつけて本体固定ネジ2本で固定する。

- (1) 本体を本体取付板に引っ掛ける。
- (2) 前パネルを開く。
- (3) ネジ1本をはずし、端子台カバーをはずす。  
●ロングドライバー (軸長200mm以上) が必要です。
- (4) 付属の木ネジ2本で固定する。
- (5) 端子台カバーを元通りネジ止める。
- (6) 前パネルを閉じる。

# 電気工事 壁スイッチタイプのみ

※太線・破線部分の結線をする。

電源・連絡電線 レバー 100V専用・誤結線注意



### 複数台運転

タイプ	同一機種運転可能台数
VL-16タイプ	5台
VL-18タイプ	3台

※内部結線はVL-18EUHを示す。  
※24時間換気高としてご使用の場合、別売のコントロールスイッチはP-04SWLをご使用ください。  
※急速 (または強)・ロスナイ (または弱) の「切り換えができない!」, 「逆に動作する」など正常に動作しない場合、誤結線ですので結線をやり直してください。

運転にはコントロールスイッチが必要です。システム部材のコントロールスイッチを準備して、説明書に従って取付ける。

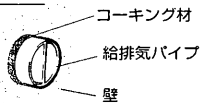
- (1) 電源・連絡電線を先端8.5mm皮むきし、速結端子に差し込み、レバーをたあす。(適用電線VVF単線φ1.6)

### お願い

- 他社のスイッチを使用する場合も、必ず結線図に従ってください。(スイッチへの結線部分と渡り線が異なり、誤結線となる場合があります)
- 誤結線により、内蔵リレーのチャタリングが発生する場合があります。このとき他の電気製品 (医療機器含む) に電圧障害が生じる可能性がありますので、必ず結線図に従ってください。
- (2) 速結端子から電線が抜けられないことを確認する。
- (3) 端子台カバーを元通りネジ止める。
- (4) 前パネルを閉める。
- (5) 分電盤のブレーカーを入れる。

## 室外側工事

### 1. 壁穴をふさぐ



給排気パイプと壁穴とのすき間を市販のコーキング材でふさぐ。

#### お願い

- すき間をふさがないと雨水が浸入します。

### 2. 室外フードの取付け

室外フードの取付工事説明書に従い室外フードを取付ける。

## 取付工事後の確認

- 取付工事終了後、試運転の前にチェック表にしたがって点検する。
- 不具合があった場合は必ず直してください。(機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません)
- チェック表

	チェック項目	不具合時の対策	チェック
取付工事	本体の取付強度は十分ですか?	補強等を直す	
	本体が確実に取付けられていますか?	本体固定ネジを締め直す	
	前パネルが確実に閉じられていますか? (コーキングはしましたか?) (室外側:給排気パイプ、室外フード)	前パネルを閉じる コーキングをする (コーキングをしないと雨水が浸入します)	
	電圧は100Vですか?	100Vに直す(異電圧を印加すると製品が破損します)	

### ■電圧チェック表 壁スイッチタイプ のみ

モード	スイッチ操作	端子間電圧※1	チェック欄
停止	切 強	A-B OV	
		A-C OV	
		B-C OV	
強運転※2	入 強	A-B 100V	
		A-C 100V	
		B-C OV	
弱運転※3	入 弱	A-B 100V	
		A-C OV	
		B-C 100V	

測定した電圧が左表の端子間電圧と異なる場合は、誤結線されていると考えられます。通電を停止して、結線図に基づき配線をやり直し、再度チェックをしてください。

※1 端子間電圧は、電源電圧の変動により若干異なる場合があります。

※2 VL-18EUH, URHタイプは「強運転」が「急速運転」となります。

※3 VL-18EUH, URHタイプは「弱運転」が「ロスナイ運転」となります。

## 試運転

試運転はできる限りお客さま立ち会いで行う。  
チェック表に従ってチェックする。

### ■チェック表

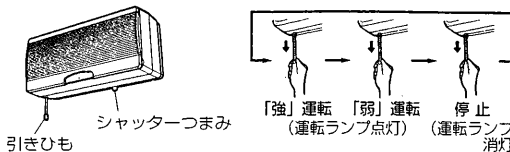
	チェック項目	不具合時の対策	チェック
試運転	スイッチの操作と本体動作は合っていますか? (壁スイッチタイプのみ)	誤結線です 結線図に従って結線をやり直す (本体は破損しません。電圧チェック表で確認します)	
	羽根当り音がしていませんか?	前パネルを開け、エアフィルターをはずして ゴミなどを取り除く(見える範囲のみ)	
	運転開始/停止時に異常音が出ませんか? シャッターがスムーズに動作しますか? (引きひもタイプのみ)	パイプ、パイプ取付板が浮かないように壁面に密着させる	

### 電源を入れる

1. 分電盤のブレーカーを入れる。
2. 電源プラグをコンセントに差し込む。(電源プラグ付のみ)

### 運転状態の確認

#### 引きひもタイプ



1. シャッターつまみを「ひらく」の位置にする。
2. 引きひもを引いて運転操作をする。
3. スイッチ指示に合わせ正常に運転するか確認する。
4. 試運転が終了したらシャッターを「とじる」位置にする。(お客さまがお使いになるまで製品内にほこり等が入らないようにします)

#### お願い

- シャッターつまみが「とじる」の位置にあると引きひもを引いても換気できません。

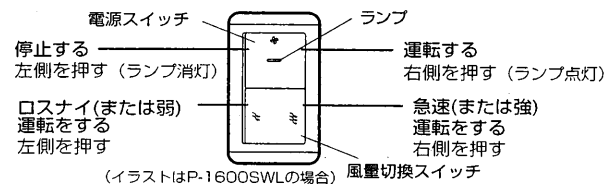
温暖地仕様にはシャッターはありません

#### 壁スイッチタイプ

別売のコントロールスイッチ (P-1600SWLなど) で操作します。

※ご使用になるスイッチの種類によっては「急速」=「強」、「ロスナイ」=「弱」と表示されている場合もあります。

※スイッチの取扱説明書もご参照ください。



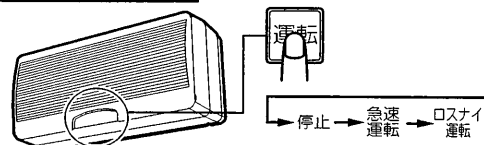
〈VL-18EUH (-J, -W) の場合〉  
P-100SL<sub>2</sub>をご使用の場合は、  
スイッチに同梱のネームカードに  
差し替えてください。

#### ミニ情報

- 引きひもタイプ以外には電気式シャッターがついています。

温暖地仕様にはシャッターはありません

#### ワイヤレスリモコンタイプ



本体の運転スイッチを押すたびに運転が切り換わることを確認する。

## お客さまへの説明

- 分電盤のブレーカーとコンセントまたは、壁スイッチの位置をお客さまへ説明してください。
- チェック表の結果をお客さまへお知らせください。
- リモコンタイプは、「リモコン」、「リモコンホルダー」、「乾電池」、「取付ネジ」をお客さまへお渡しください。
- この「取付工事説明書」は、別冊の「取扱説明書」とともにお客さまへお渡しください。
- お客さまが不在の場合は、発注者(オーナーなど)または、管理人さまへ説明してください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111

この説明書は、  
再生紙を使用  
しています。